

くまもと 就農支援だより

Vol.3
2019/11

NPO法人 熊本県就農支援機関協議会

令和元年度活動報告

NPO法人 熊本県就農支援機関協議会通常総会開催

令和元年6月3日(月)、今年度新築オープンしました熊本県立農業大学校研修交流館において、協議会会員及び熊本県、関係機関等の関係者55人参加のもと開催しました。



当NPO理事長 木之内



熊本県農地・担い手支援課
楮本課長



(公財)熊本県農業公社
島田理事長



総会の模様 令和元年6月3日(月)



昨年度の活動実績、収支決算及び新年度の事業計画、活動予算の承認を得て、令和元年度のスタートを切りました。熊本県が新たに推進する新規就農スタートアップ支援力強化事業についても、当協議会でも取り組むこととしました。



総会終了後、同日同会場にて行いました。

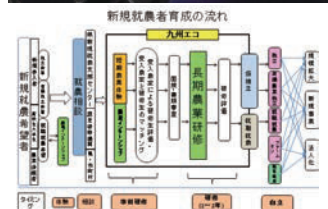
令和元年度 認定研修機関担当者研修会を実施

～新しい事業の取組みも始まり～

熊本県新規就農者育成体制の概要と新規就農者育成の新規事業等について、熊本県農地・担い手支援課の竹下主幹から説明を受け、NPO法人九州エコファーマーズセンターの吉村事務局長からNPO法人九州エコでの新規就農者育成の流れ、就農相談(面談)、インターンシップ、研修開始等について事例報告を行いました。



担当者研修の模様



分科会の模様

その後、会員との交流トークを実施し、ファシリテーターを熊本県の竹下主幹にお願いして、プレゼンターには、NPO法人九州エコの木之内理事長と吉村事務局長が当たりました。認定研修機関として直面する課題の討議が出来、市町村担当者にもこの声を聞いて欲しかったという意見も出て、意義深い研修会となりました。その後、3つの分科会で討議を行い、終了後、全体会を実施し課題の抽出と新年度事業の推進を協議会会員及び担当者同士で確認しました。

令和元年度 第一回就農研修受入れ農家向け研修会を実施



～ 研修生は労働者ではありません・より良く育てます ～

令和元年7月17日(水) JA熊本県中央会・連合会 教育研修センターで 受入れ農家40人、関係者16人、計56人で実施



当NPO理事長・木之内

受入れ農家も初めての研修生受入れが大半であり、まず熊本県農地・担い手支援課の竹下主幹より「新規就農者育成の体制と流れ」について講話いただき、基礎的な理解を深めました。次に、実践体験で当協議会理事長の木之内均から「新規就農者育成研修受入れの実際と課題」について、生の体験談があり、参加者全員が参考になったと感想を述べました。



熊本県農地・担い手支援課林田審議員

その後、「研修生受入れガイドブック」の紹介と活用の仕方について当協議会吉村事務局長が説明。



熊本県農地・担い手支援課竹下主幹

最後に時間をかけて「研修生をより良く育てていくために」をテーマに、パネルでディスカッションを

実施しました。ファシリテーターに当協議会スペシャリストの平岡、パネラーとして(有)肥後あゆみの会 代表取締役澤村輝彦氏、(株)藤瀬農園 藤瀬修氏、JAやつしろ 営農部長兼農産・担い手課長 林田宜久氏、当法人理事長 木之内均、事務局長吉村孫徳、熊本県農地・担い手支援課主幹 竹下智也氏があがり、会場の受入れ農家との意見交換会も行いました。初めての試みではありましたが、時間も足りないくらい盛り上がり、実り多い研修会となりました。



パネル討議の様様



質疑応答



「就農研修受入れガイドブック」九州各県を越え全国から注文が入る

～当協議会新刊発刊 各県の関係者が興味を持つ～

当協議会が発刊しました「就農研修受入れガイドブック」が、全国農業新聞(九州版)、日本農業新聞(県版、全国版)に掲載され、各県も新規就農者の受入れに課題を抱えている現実があるのでしょうか、注文が来ています。



令和元年度

第一回研修生集合研修会を開催

～ 皆で学ぼう 農業を始めるには基礎を大切に ～

令和元年8月9日(金) 熊本県立農業大学校研修交流館で実施

この研修は、新規就農育成カリキュラムモデルから、各認定研修機関で実施出来ない科目や研修を効率的に実施するために、県下で学ぶ研修生を一堂に会して実施するものです。

今回は、「農業気象」を学ぼうと、パイロットの免許も持ち、農業を実践しつつ東海大学経営学部長 当協議会理事長も務める木之内均から講義を受けました。研修生からは、良い話が聞けたと好評で、研修生同士の交流の場が欲しいとの意見も出ました。



講義光景

農業人材適正・資質向上診断(アグリPLIアセスメント)セミナーの実施



令和元年7月8日(月)
熊本県立農業大学校研修交流館で実施

「企業は人なり」と言われており、農業でもその重要性は変わりません。その人材を育成するうえで新規に参入する者の適性を

- ①問題解決力
- ②企業内起業家精神、行動特性
- ③リーダーシップ

を、数百の項目から診断し、個人の適正、資質、行動特性を総合的に診断する手法である、PLIアセスメントの具体的な活用に係るセミナーを、今年度も実施しました。



理事会の開催



理事会の様



当協議会は、定期的に理事会を開催

熊本県や公益財団法人熊本県農業公社「熊本県新規就農支援センター」の関係者も参加して、年間活動計画や企画について話し合いを進めています。

モデル地域支援活動

PLIの普及活動や協議会活動の支援事業として、
現地を訪問し新規就農支援事業の推進を
サポートしています。



山都町での一コマ



今後の活動計画やお知らせ

令和元年11月から令和2年3月31日まで

■後半の行事計画一覧

内容	日付	時間	会場
第2回受入農家研修会	2019/11/13(水)	10:00~17:00	テルサ
第2回研修生集合研修会	2019/12/9(月)	13:00~17:00	農大交流館
第3回研修生集合研修会	2020/2/5(水)	10:00~17:00	JA熊本教育センター



■お問い合わせ先……………



NPO法人 熊本県就農支援機関協議会 (担当) 吉村 孫徳、平岡 浩晃
〒861-1113 熊本県合志市栄3802-4 (農業公園内) TEL:096-273-6015 FAX:096-273-6016
E-mail:k-shunoushien-k@ninus.ocn.ne.jp

